



空に向かって大きな花を咲かす

ノウゼンカズラ

ノウゼンカズラは、中国原産の落葉性
つる植物で、夏に鮮やかな朱橙色のラッ
パ形の花を房状に咲かせます。平安時代
に日本へ渡来し、「凌霄花」と呼ばれた
ものが訛って現在の名になったといわれ
ます。太陽の光を好み、樹木やフェンス、
パーゴラなどに絡みながら伸びる姿は、
真夏の風景を一気に華やかにしてくれま
す。開花期はおおむね7〜8月で、長く
咲き続けるのも特徴です。

花言葉は「名声」「名誉」「栄光」など

で、空に向かって勢いよく枝を伸ばし、
大きな花を咲かせる姿に由来するとされ
ています。公園や住宅街でも見つけやす
く、暑い季節に元気をくれる花木です。
大阪府では、大泉緑地（堺市北区）な
ど府営・市立の大規模公園で、パーゴラ
やフェンスに絡むノウゼンカズラが夏の
彩りになります。ほかにも神戸市立須磨
離宮公園（神戸市須磨区）や大和文華館
（奈良市）などの庭園でも、橙色の花が
夏空に映える景観が楽しめます。

7/1	水	全国安全週間（～7日）
2	木	半夏生
3	金	大安
7	火	七夕 小暑
9	木	大安
11	土	杭瀬神社 夏祭（～14日）
19	日	大安
20	月	海の日 中小企業の日
23	木	大暑
24	金	大阪天満宮 天神祭（～25日）
25	土	大安
26	日	土用の丑
31	金	大安
8/5	水	全国高等学校野球選手権大会開幕（～22日）
6	木	広島平和記念日 大安
7	金	立秋
9	日	ながさき平和の日

7月 シティ信金行事予定

- シティ信金写真会
8日 午前9時から
奈良西ノ京 薬師寺にて
- 内外情勢調査会大阪シティ支部7月例会
9日 正午から
帝国ホテル大阪にて
講師：宇宙航空研究開発機構（JAXA）
名誉教授 的川 泰宣 氏
- 地元への奉仕活動（清掃）
全店舗で実施

シティ信金協賛等行事予定

- いくたま夏祭り
11日、12日 生國魂神社にて
- 天神祭
24日、25日 大阪天満宮ほか
- 住吉祭
30日～8月1日 住吉大社にて



Monthly essay



宮都の先達

飛

鳥・藤原の宮都、世界遺産へ――。朗報が届いたのは6月初め。国の礎を作ったとされる「大化の改新」の地である。「日本に京都があつてよかった」というコピーがあるが、ためらいなくパクリが口をついて出た。「日本に奈良があつてよかった」

世界遺産に登録されるのは飛鳥・藤原両宮跡はじめ、「飛鳥美人」の壁画で知られる高松塚古墳、蘇我馬子の墓説がある石舞台古墳、用途に諸説ある酒船石遺跡など19資産。明日香村、橿原市、桜井市に点在している。「6世紀末から8世紀初めの、日本で初めて中央集権体制が成立した過程を示す遺跡群」という日本側のアピールが、世界史の視点でどう評価されるかがポイントだったが、「東アジアにおける古代都市の形成過程の重要な証拠」と認定されたという。ニュースを聞いて、御井敬三

さん（1918～71年）の名前が即座に浮かんだ。今回の「19資産」のうち15が集中する明日香村に大阪から移り住み、明日香村特別措置法の法制化と飛鳥保存財団設立に尽力し、53歳で急逝した全盲の鍼灸師である。明日香を守るためには国を動かさなければ――。鍼灸院の客であつた松下幸之助さんのアドバイスを受け、佐藤栄作総理大臣に直訴状を書き、朗読して録音した。70年1月のことである。録音テープは幸之助さんが届けた。「古代日本の政治と文化の母胎となった飛鳥」が「近代化の浸蝕を受けて消滅」の危機にあると訴え、「遺跡保存」と「住民生活の向上」の新法制定を求める内容だつた。

明日香保存の声は高まっていたが、御井さんの長大な直訴テープからあふれ出す熱意は格別だつた。「この一管の御聴許を機に、首相閣下には是非とも飛鳥の古京趾を御視察頂ければ」の誘いに首相が応じ、明日香村を訪れたのは半年後の70年6月。明日香特別措置法は、時間を要したが、80年に施行された。法律の正式名称「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法」は御井さんの直訴のエッセンスそのものである。

（わ）

世界遺産の登録が正式に決まるのは7月19日から韓国・釜山で開かれるユネスコの世界遺産委員会だという。今年初め刊行された「奈良の太平洋戦争」（久門たつお、京阪奈新書）を見ると、明日香村が米軍の空襲に見舞われたのは45年7月19日。機銃掃射で犠牲者が出た。

古代国家誕生の地の長い歴史と、そこに暮らした人たち。20年越しで登録にこぎ着けた関係者。そこに至るまでの御井さんをはじめ先達、先人の献身を思う。